

水産物の週間市況について

東京都中央卸売市場 豊洲市場 水産農産品課

03(3520)8261~8262

2026年5月1週 (5月1日~5月7日)

前年同期 (5月2日~5月8日)

1 品種別取扱状況

	総取扱数量	鮮魚類	冷凍魚類	塩干加工品
一日平均取扱数量 (t)	1195	679	235	281
前週比 (%)	121	106	118	200
前年同期比 (%)	120	124	115	116

2 魚種別取扱状況(各地*:海外含む。前週・前年同期比の単位は%、該当する中値を比較して算出。)

品名	一日平均取扱数量 (t)					主産地	銘柄	卸売価格(円/kg)及び中値比較					今週の主力 (サイズ)
	取扱数量	前週比	増減	前年同期比	増減			高値	中値	安値	前週比	前年同期比	
マグロ	26.8	71	↓	50	↓	各地	生	16200	4777	1620	122	101	-
						海外	生	-	6480	-	-	173	-
メバチ	33.8	93	↓	75	↓	各地*	冷凍	2700	1600	1404	101	152	-
アジ	43.4	85	↓	136	↑	鳥取ほか	中	2160	675	432	116	86	180-200g/尾
						三重	中小	540	459	378	106	89	80g/尾
サバ	19.6	121	↑	76	↓	千葉	-	1404	581	432	93	113	7-10入/5kg
イワシ	27.5	95	↓	146	↑	石川	-	864	392	324	101	95	100-110g/尾
スルメイカ	2.4	89	↓	37	↓	富山	-	1485	1224	864	95	78	20-30入/3-4kg
冷スルメイカ	5.9	151	↑	190	↑	各地	-	2376	-	2160	-	-	-
サンマ	2.0	111	↑	182	↑	各地	解凍	1080	-	648	-	-	-
カレイ	19.1	93	↓	171	↑	北海道	マ	648	446	270	103	92	-
						青森ほか	マコ	756	666	540	97	112	-
						北海道	アカ	756	524	324	108	117	-
						北海道	アサバ	540	486	432	-	129	-
ハマチ	13.2	148	↑	126	↑	愛媛ほか	野ヅ	2052	1998	1944	100	128	5-6kg/尾
塩サケ	32.3	195	↑	229	↑	北海道	トキ	2700	2484	2376	100	77	-
						北海道	アキ	1188	1134	1080	100	75	-
タラ類	4.4	107	↑	122	↑	-	生	-	-	-	-	-	3-5kg/尾
						宮城	ぶわ	1620	-	1512	-	-	4-7枚入/5kg
カツオ	32.2	92	↓	102	↑	鹿児島ほか	-	4104	972	540	132	90	1.5-4kg/尾
キンメダイ	6.3	107	↑	115	↑	東京ほか	-	5184	2160	1080	102	108	0.5-1.5kg/尾

3 豊洲市場概況

今週は4日(月)、5日(火)が休市のため4日間の営業。鮮魚類の取扱数量は前週に比べ6%の増加。一般鮮魚類を中心に取引を見ると、1日(金)、週末の取引、潤沢入荷で雨市だが、月替わりで買い気はやや上向き。カツオとアジはともに堅調、サバは軟調、イワシは小甘く、スルメとブリは保合った。相場全体では小動き。2日(土)、休市前の取引、入荷がさらに増えて潤沢だったが、3連休前で買い気はまずまず。サバは1割上伸、カツオは続堅調、スルメは堅調、イワシは強保合、アジは弱保合、ブリは保合った。相場全体では強保合。6日(水)、水曜開市の取引、入荷増だが、3連休明けで買い気は順調。アジは1-2割上伸、ブリとサバはともに堅調、カツオは小甘く、イワシは小動きとなった。相場全体では堅調。7日(木)、開市の間の取引、入荷は減ったが買い一服感から、買い気は振るわなかった。ブリは続堅調、イワシは堅調、カツオは2-3割下落、アジはまちまち、サバは保合った。相場全体では続堅調。

主要鮮魚別に見ると、アジは中型が鳥取と長崎、中小型が三重主体に入荷。前週に比べ数量は15%減少、価格は中型が1.5割強高、中小型が0.5割強高。サバは千葉主体に入荷。前週に比べ数量は21%増加、価格は0.5割強安。イワシは石川主体に入荷。前週に比べ数量は5%減少、価格はほぼ変わらず。スルメイカは富山主体に入荷。前週に比べ数量は11%減少、価格は0.5割安。カツオは鹿児島と宮崎主体に入荷。前週に比べ数量は8%減少、価格は3割強高。